

## シラバス

|                                      |  |                               |
|--------------------------------------|--|-------------------------------|
| ナンバリングコード/<br>科目番号                   | HE30011  |                               |
| 科目名                                  | 病態検査学  |                               |
| 科目名 (英語)                             | Clinical Laboratory Medicine   |                               |
| 授業形態                                 | 講義   |                               |
| 標準履修年次                               | 3年   |                               |
| 実施学期・曜時限等                            | 春学期 A B C、秋学期 A・集中   |                               |
| 使用教室                                 | 4 B 1 1 5  |                               |
| 単位数                                  | 4単位  |                               |
| 担当教員名                                | 小池 朗、二宮治彦、正田純一 他   |                               |
| 備考                                   | 実務経験教員：小池 朗、二宮治彦、正田純一 他  |                               |
| 使用言語 (☑してください)                       | ☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル   |                               |
| ティーチングフェロー(TF)・<br>ティーチングアシスタント (TA) | なし   |                               |
| オフィスアワー等                             | オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。<br>小池 研究室：4B404 電話：3435 Eメール：koike@md.tsukuba.ac.jp   |                               |
| 学位プログラム・コンピテンス<br>との関係               | 汎用   |                               |
|                                      | 医療   | 2. 人間の健康と疾病の理解 3. 臨床検査の知識と実践力 |
|                                      | 国際   | 2. 人間の健康と疾病の理解 3. 臨床検査の知識と技術  |
| 授業の到達目標<br>(学修成果)                    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. それぞれの疾患の病態 (病因・臨床所見・診断・治療など) について理解を深める。</li> <li>2. それぞれの疾患を診断する際に必要な検査の概要と実施方法を理解する。</li> <li>3. 各検査から得られる結果の解釈と評価ができるようになる。</li> <li>4. 諸検査の結果から疾患の診断へのプロセスについて理解する。</li> </ol> |                               |
| 他の授業科目との関連                           | 臨床病態学  |                               |
| 履修条件                                 | なし   |                               |
| 授業概要                                 | それぞれの疾患の病態を掘り下げ、更にはその診断・治療・予後判定に必要な検査とその実施方法、結果の解釈などについて講義する。  |                               |
| キーワード                                | 病態、検査  |                               |
| 授業計画                                 | <p>以下のテーマについて、担当教員がオムニバス形式で講義を行う。</p> <p><u>総論</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨床検査の目的と意義</li> <li>・ 消化管・肝・胆・膵系の検査</li> <li>・ 悪性腫瘍・内分泌系などの検査</li> </ul>   |                               |

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| <p>授業計画</p>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 循環器系疾患</li> <li>・ 呼吸器系疾患</li> <li>・ 腎疾患・電解質・酸塩基平衡</li> <li>・ 血液・造血器系・出血性素因の検査</li> <li>・ 神経・筋疾患</li> <li>・ 感染症</li> </ul> <p>各論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プライマリ・ケアにおける臨床推論</li> <li>・ 遺伝子診断の実際、糖尿病の診断と治療</li> <li>・ 睡眠時無呼吸の診断と治療</li> <li>・ 心電図の基礎・不整脈</li> <li>・ 心不全</li> <li>・ 末梢・筋疾患各論</li> <li>・ 中枢神経疾患各論</li> <li>・ 狭心症・心筋梗塞</li> <li>・ 動脈硬化・動脈疾患</li> <li>・ 呼吸器系感染症・悪性疾患</li> <li>・ 閉塞性肺疾患・間質性肺疾患・その他</li> <li>・ 肝胆膵疾患</li> <li>・ 消化器系疾患</li> <li>・ 腎疾患：尿の異常・腎炎について</li> <li>・ 腎疾患：腎機能評価・腎不全・透析について</li> <li>・ 膠原病</li> <li>・ 骨代謝の検査</li> <li>・ 神経損傷の電気生理学的検査</li> <li>・ 精神医学</li> </ul> |
| <p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>  | <p>講義（100%）<br/>         テーマ毎に、指定教科書を用いた予習を行う。<br/>         授業後は、担当教員から配付された資料を用いて復習を行う。</p>   |
| <p>単位取得要件</p>                  | <p>2/3 以上の出席</p>   |
| <p>成績評価方法</p>                  | <p>期末試験の点数に基づいて評語（A+～C）で評価する。</p>  |
| <p>教材・参考文献・配付資料等</p>           | <p>教材：「疾患からまとめた病態生理 FIRST AID（編集 奈良信雄）」<br/>         メディカル・サイエンス・インターナショナル</p>   |
| <p>その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)</p> | <p>変則日程のため、日程の詳細は 4B 棟 1 階掲示板にて確認のこと。</p>  |